

家畜飼養管理 I

講師名	武田 哲・山口直己	実務経験等	武田：家畜保健衛生所での勤務経験を活かし、家畜の役割と動向、品種・特性、衛生と病気、繁殖、育種、飼養管理に関する講義を担当している。 山口：農業改良普及センター・農業研究センターでの勤務経験を活かし、乳牛の搾乳、改良と先進技術、飼養管理、牛群検定等に関する講義を担当している。
-----	-----------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修学年	開講学期	標準時間	単位数
畜産学科・専門科目	畜産・酪農	必修	1	通年	195	13
使用教科書・副教材	乳牛管理の基礎と応用(2012年改訂版・デーリィ・ジャパン社)、新版 家畜飼育の基礎(農文協)、日本飼養標準乳牛2017年版(中央畜産会)、自作プリント					
授業の目的	乳用牛の生理特性を理解させ、合理的な飼養管理技術を習得する。					
授業の到達目標	乳用牛の各飼養管理技術の意義とその手法を理解する。					

月日	学習項目	学習事項	時間	授業形式	備考 (提出物等)
4月15日	農場HACCPとGAP	農場HACCPとGAPの基本概念	2	講義	概論 学科共通
4月21日	家畜の役割と動向	人間生活と畜産、日本畜産の特徴と動向	2	講義	概論 学科共通
4月28日	家畜の生理・生態と飼育環境	家畜の生理・生態と飼料、飼養環境とその調節の仕方	2	講義	概論 学科共通
5月6日	家畜の生理・生態と飼育環境	家畜の繁殖と育種、家畜ふん尿の処理と有効利用	2	講義	概論 学科共通
5月13日	飼料の生産と利用	飼料作物の特徴、種類と利用	2	講義	概論 学科共通
6月3日	飼料の生産と利用	草地の維持・管理、飼料作物の調整と貯蔵	2	講義	概論 学科共通
6月10日	家畜飼育の実際(酪農)	酪農(品種、飼育方式、消化・吸収、繁殖生理)	2	講義	概論 学科共通
6月17日	家畜飼育の実際(酪農)	酪農(泌乳、搾乳牛・子牛・育成牛の飼育管理)	2	講義	概論 学科共通
7月1日	家畜飼育の実際(酪農)	酪農(乳牛の衛生と病気、牛乳の品質と利用)	2	講義	概論 学科共通
7月6日	家畜飼育の実際(肉牛)	肉牛(品種と改良、飼育形態と施設・設備)	2	講義	概論 学科共通
7月8日	家畜飼育の実際(肉牛)	肉牛(飼料の種類と給与、肉牛の衛生と病気)	2	講義	概論 学科共通
7月15日	畜産経営と情報利用	畜産における情報の役割と種類	2	講義	概論 学科共通
8月18日	家畜飼育の実際(バイオ)	バイオテクノロジー、動物遺伝資源の活用	2	講義	概論 学科共通
8月26日	家畜飼育の実際(鶏・豚)	養鶏、養豚、ウマ、ヤギ、メンヨウ、ダチョウ	2	講義	概論 学科共通
4月	農大の搾乳方法	乳牛の飼養管理について理解し、搾乳方法を学ぶ	8	講義	
	農場HACCP・畜産GAP	農場HACCP及び畜産GAPの基本を理解する	4	講義	
5月	牛の歴史	家畜に関する知識を深める(牛の博物館)	4	事例研	レポート(5/6)
	乳生産と搾乳技術	乳合成や乳房炎等について理解を深める	6	講義	
	乳牛の一生と放牧	乳牛の一生や放牧施設や放牧技術について学ぶ	6	講義	
	搾乳技術(外部講師)	搾乳の基本技術・衛生的な搾乳について学ぶ(全農)	4	講義 実習	レポート(6/7)
6月	カウコンフォートと先進技術	カウコンフォート・ICTについて学ぶ(畜産研究所)	8	事例研	レポート(6/11)
	削蹄技術(外部講師)	牛の護蹄と削蹄技術について(岩手県装削蹄師協会)	16	講義 実習	(6/28-29)
	県有種雄牛	県有種雄牛の造成について学ぶ(種山畜産研究所)	8	事例研	レポート(6/30)
7月		先進地の飼養管理方法を学ぶ	8	事例研	レポート(7/2)
		哺育・育成、暑熱対策について学ぶ	10	講義	
8月	乳牛の飼養管理	乳牛の繁殖やBCSについて学ぶ	6	講義	
9月		搾乳手順や飼養管理方法の基礎を確認する	4	講義	
		牛群検定・飼料の調整について学ぶ(畜産研究所)	8	事例研究	レポート(10/5)
10月		牛群検定について学ぶ	2	講義	
11月	先進農家の技術	先進農家や畜産関係の事例研修により課題解決策を学ぶ	16	事例研究	レポート(11/8-9)
	乳牛の育種改良	飼料の種類・設計について学ぶ	4	講義	
	乳牛の飼養管理	牛舎施設及び寒冷対策について学ぶ	4	講義	
12月	バイオセキュリティ	畜舎衛生や畜産物の安全対策について学ぶ	2	講義	
	乳牛の飼養管理	乳牛の繁殖管理について学ぶ	6	講義	
	卒業研究課題	卒業研究の取組みに向け、課題抽出や情報収集を行う	4	講義	
1月	畜産GAP	家畜福祉や応用技術、作業者の安全について学ぶ	4	講義	
	農場HACCP	農大の生産工程管理における課題を抽出し、改善策を検討する	10	講義 実習	
2月	卒業研究課題	卒業研究テーマを決定し、関連する技術について学ぶ	16	講義	
合計			196	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

筆記試験の得点、受講態度、提出物の内容、出席状況により評価する。

評価割合：(概論)筆記試験 70%、平常点 30%(学習態度、出席状況)

評価割合：(概論以外)筆記試験 70%、平常点 30%(小テスト、学習態度、出席状況、提出物)

履修に当たっての留意点等

受講に際しては、事前に教科書、参考書等に目を通しておくことが望ましい。授業は教科書に沿って行うが、項目が入れ替わることもあるので注意すること。授業形態は主に板書や自作プリントを用いて行う。外部講師の講義は主にパワーポイントと自作プリントにより行う。牛舎や実験棟での授業、又は校外事例研究の際は事前に連絡するので確認のこと。